科目名 ディスプレイ実習 I						
担当教員		大沼の久子		8授業の有無	授業の有無	
対象学	2科	インテリアデザイン科 空間プロデュースコース	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択		選択必修	単位数		時間数	48時間
授業概要、目的、授業の進め方		空間の構成・演出の基礎を学ぶ。店舗等における販促計画や季節に合わせた表現をディスプレイを通して制作するトレーニングのための実習 1. 座学→プランニング→実習→講評→添削と解説を繰り返し行い習得レベル差ごとの指導も適宜行う。 2. 目的を持って、表現する空間演出のプロセスを計画・実習する。 3. 条件に則した製作の進め方の基本を理解する。 4. 最終的には、イメージ設定をし学内展示し、評価、解説する。				
学習目標 (到達目標)		2年次に受検する「商品装飾展示技能士3級」合格率100%を目指す。空間構成、装飾、演出の基礎を習得する。商品の見せ方、並べ方の基本を習得し、売上げに繋がる技術を学ぶ。検定対策ともに就業時の即戦力になれるPOPラッピング技術の習得を目指す。学校内スペースを演出し、空間装飾力を身につける。				
	スト・教材・参 書・その他資料	①商品装飾展示技能士3級の過 ②ファッションビジネス検定3 ③おまたせしない実用ラッピン	級・2級 リテー	<i>・</i> -ルマーケティング		粋
NO.		授業項目、内容		<u> </u>	学習方法・準備	学習・備考
1	年間販促カレンダー ①1年間のカレンダーを作りと販促の流れ ②季節感をつかむ。			方法:作成方法の説明と解説し、練習課題の演習。 販促計画の基本が理解できている。 準備学習:テキストを見ながら、手順を練習する。		
2	立体の基本構成 ①立体構成のコラージュ作成 ②立体の構成を実際に飾る			方法:作成方法の説明と解説し、練習課題の演習。 レイアウトや立体構成の基本が理解できている。 準備学習:テキストを見ながら、手順を練習する。		
3	ラッピング基本 ①斜め包み ②キャラメル包み1・2			方法:作成方法の説明と解説し、練習課題の演習。 ラッピングの基本が理解できている。 準備学習:テキストを見ながら、手順を練習する。		
4	③リボン結び POPの基本 ①小文字ひらがな、②カタカナ、 ③アルファベット、④数字、漢字			方法:作成方法の説明と解説し、練習課題の演習。 POPの基本が理解できている。 準備学習:テキストを見ながら、手順を練習する。		
5	VMDの知識 ①小テスト ②VP,PP,IPの使い分け			方法:作成方法の説明と解説し、練習課題の演習と小テストの実施、解答、解説 VMDの基本が理解できている。 進備学習・テキストを見ながら、手順を練習する		
6	生活催事の表現方法 ①母の日・父の日の演出 ②立体構成まとめ+ラッピング+POP			方法:作成方法の説明と解説し、練習課題の実習 各課題の条件を把握し、基本が理解できている。 準備学習:テキストを見ながら、手順を練習する。		
7	学内スペースの演出 ①夏のイメージの空間演出			方法:作成方法の説明と解説し、練習課題の実習 各課題の条件を把握し、基本が理解できている。 準備学習:テキストを見ながら、手順を練習する。		
8	平面構成の基本 ②壁面の飾り方実技			方法:作成方法の説明と解説し、課題の実習 各課題の条件を把握し、基本が理解できている。 準備学習:テキストを見ながら、手順を練習する。		
	評化	西方法・成績評価基準	履修上の注意			
課題の完成度、理解度、課題期日厳守、小テストの成績、授業態度、などを考慮して総合的に判断して評価する。 で表慮して総合的に判断して評価する。 で表慮して総合的に判断して評価する。 で表して総合的に判断して評価する。 で表して総合的に判断して評価する。 で表して総合的に判断して評価する。 で表して総合的に判断して評価する。 で表して総合的に判断して評価する。 である。また、繰り返し行うことで重要なポイントのは続評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下) 「本教祭 医教育 の祭 医 ディスプレイ 業 思 において、20年 ま教に 性 ね ス						导する段階的に、演習課題等を行行うことで重要なポイントをしっ
実務経験教員の経歴 ディスプレイ業界において、30年実務に携わる						